

信和SC-905GⅢ ウルtraspecial 800RS

1. 本機は、無断で他の人にスペシャル機能を、使用されないように、安心ロック機能が装備されています。
購入された時点であなたの暗証番号をお教えしますので、メモをするなどして忘れないようにしてください。

A. ノーマル状態からスペシャル状態に設定するには、以下の操作を行なってください。

M + **0** + **C** + あなたの暗証番号 + **HOLD** + **M** 12345

暗証番号が、正しければ、つぎのメッセージが表示されます。

800CH **SPE-** **CI AL** (3回に、わけて表示されます)

暗証番号に間違いがあると、以下のように表示され、スペシャル状態にはなりません。

Error **input** **Your** **Code** (4回に、わけて表示されます)

B. なにかの不都合で、ほかの人にスペシャル状態を使用されたくない時に、以下の操作を行なってください。

HOLD + (MICの) **REMOTE** 以降は、完全ノーマルでしか使用できなくなります。

2. ノーマル状態からスペシャル状態にした時、各、機能は、以下の設定になります。

- A. ノーマルモード
- B. 群番解読機能 OFF
- C. スキャンスピードノーマル
- D. ATIS信号送信
- E. 呼び出し受付時のタイマー動作有り
- F. 待ち受けメモリー拡張なし
- G. 158CH モード
- H. ATIS ROM無送信可能
- I. 使用CHサーチ

3. スペシャル状態では、以下の機能があります。

A. CQ"00000"での、リコールが可能。

B. 数字以外の特殊群番号が設定可能。

操作方法は、以下のように行ないます。

通常、群番号を設定する場合は、**C**のキーに続いて、数字キーを入力しますが、AからFの群番号を入力する場合は、**M**のキーを押してから、数字キーを押すことにより、可能です。

例：群番号 ABCDF を設定する。

C + **M** + **1** + **2** + **3** + **4** + **6** => **AbCdF**

例：群番号 1B3D5 を設定する。

C + **1** + **M** + **2** + **M** + **3** + **M** + **4** + **M** + **5** => **1b3d5**

以上のように、**M**のキーを押すことにより、数字キーがアルファベットのキーに、交互に切り変わります

1 => **A** **2** => **B** **3** => **C** **4** => **D** **5** => **E** **6** => **F**

4. ON. OFF可能なスペシャル機能

A. 送受信するモードの変更

モードの変更は、HOLD+1または3で行ないます。

HOLD + 1 => 4

1のキーを押すたびに、表示の1ケタ目の数字が下がっていく。

HOLD + 3 => 1

3のキーを押すたびに、表示の1ケタ目の数字が上がっていく。

表示の1ケタ目がモードを表わしています。CH表示中の、1ケタ目も同じです。

例： モニター、またはレディ中 CALL => 0 50 ノーマルモードの50CH

0 ノーマルモード (通常のパーソナルバンドです。) 903~905MHz

1 ダウンモード 901~903MHz

2 ダブルダウンモード 899~901MHz

3 トリプルダウンモード 897~899MHz

4 フォースダウンモード 895~897MHz

B. 群番号の解読

群番号の解読をON/OFFできます。HOLD+2の操作により、ON/OFF交互の設定です。

HOLD + 2 => 0 ISP 解読ON HOLD + 2 => 0 FF 解読OFF

リセット、モニター、レディ、いずれの状態でも、ATIS信号を受信すると、自動表示します。表示されるだけで、自局の群番号にはなりません。PTTを握るなどで、もとの群番号になります。

C. モニタースキャンスピードの切り替え

スキャンのスピードを速く、遅くに切り替えられます。HOLD+4の操作です。

HOLD + 4 => 04 高速 HOLD + 4 => 0 低速

D. ATIS信号のカット

PTTを握った時、離れた時、一分に一回の ATIS信号を止めます。

HOLD + 5 => 0 5 カット HOLD + 5 => 0 送信する

カットしておいても、リコールはできます。

E. 呼び出しを受け付けた時のタイマーカット

呼び出しを受けた場合、CQ"00000"では、20秒、群番号では30秒間、表示を点滅させ、キー入力がなにもなければ、リセットするようになっていますが、この時のタイマーを止めます。

HOLD + 6 => 0 6 カット HOLD + 6 => 0 ノーマル

カット中は、呼び出しとともにレディモードになりますので、CHの表示は、されません。

F. 待ち受けメモリーの増設

通常は、メモリー1から3、及び、表示の群番号で、待ち受けできますが、メモリー4から8までも、待ち受けに加えることができます。ただし、この時、特殊群番号の待ち受けも、セットされます。

HOLD + **7** => **0 7** 増設

HOLD + **7** => **0** ノーマル

セットしますと、数字キーの4から8までが、メモリー群番号と、特殊群番号の、待ち受けセットラングが、兼用になります。リセットの時の自動呼び出し機能は、メモリー群番号に変更されます。

例：HOLD+7セットで、**CALL** + **5** =>メモリー5の群番号を自動呼び出しする。

セット状態で、最大待ち受け面数は、15面となります。（ただし、表示している群番号は、M9またはM0）

G. 80CHモード・158CHモード

呼び出し、モニターなどの、無線機の状態を、80CHモードに固定します。

HOLD + **8** => **80CH** 80CH

HOLD + **8** => **158CH** 158CH

ただし、呼び出された場合には、相手局のモードに自動的に変更されます。

H. 空きCHサーチ

モニターサーチを空きCHで止まるモードにします

HOLD + **C** => **OPEN** 空きCH

HOLD + **C** => **USE** ノーマル

I. ATIS ROM無し送信

ATIS ROMが、挿入されていないと、送信できなくなります。

HOLD + **M** => **OFF** 送信禁止

HOLD + **M** => **ON** 送信可能

送信可能状態では、疑似的な免許番号で使用するようになります。免許申請は、かならずしてから使用してください。

J. 全群番号待ち受け

呼び出しを行なっている、すべての群番号に呼び出されます。

HOLD + **CALL** => **-RLL-**

HOLD + **CALL** => **-GUN-**

呼び出された時点で、一時的に相手の群番号に切り変わり、その群番号で通話が行なえます。

リセットした場合には、前回表示していた群番号に戻ります。

深夜の高速道路の移動などの時、交通情報の傍受などの時に便利です。

K. 群番号の吸い取り

相手局の使用している群番号を、自分のメモリーにコピーする機能です。

メモリーさせる先を指定できます。また、自局の使用している、群番号は変わりません。

例：読み取った群番号を、メモリー3にコピーする。

HOLD + **HOLD** => **COPY** + **3** => **COPY3** => 群番表示に戻る

吸い取った群番号で使用したい場合、そのまま、**M** + **3** とキー入力することで、可能です。

また、キー操作を行わずにPTTを握りますと、自局の群番号に戻ります。

C. チャンネル指定が、キー入力によりできます。指定したい数字のあとに、モニターキーを押します。

例：80CHを指定する

+ + + =>

?は、モードを表わします。

2ケタの場合は、キー操作も2ケタでできます。

例：158CHを指定する

+ + + + =>

リセット、モニター、レディのどの状態からでも、操作できます。

01CHの指定も可能ですが、送信はできません。モニターのみとなります。

D. 緊急コード（E-CODE）の、待ち受け解除ができます。

待ち受けセット、解除は、ほかの特殊群番号と同じく、キースイッチのランプで区別します。

ほかになにもキーを押さない状態の時、数字キーを押しますと、キーのランプが点燈、消燈を交互に繰り返します。ランプがついている状態で、待ち受けセットとなります。9のキーを押して、ランプがついたり消えたりすることを確認してください。

E. モニターの状態から、PTTを押すことにより、通話可能です。

F. 電源をOFFにしても、前に使用していた状態を覚えていますので、便利です。

たとえば、通話中に、電源をOFFにしても、ONと同時に同じCHでレディ状態になります。

G. リセットしても、前回使用したCHを覚えていますので、1回、モニターキーを押すことにより、そのCHに戻るができます。

いわゆる、5分間メモリー（W-A）ですが、MONランプの点滅状態には関係なく、CHを記憶します。

H. モニター、通話中に、CALLキーを押すことにより、CHの表示をします。

=> 例：ノーマルモードで、123CHにいる。

I. リコールは、マイクのREMOTEキーで行なえます。パネルの、CALLキーではできなくなります。なお、押している間連続でリコールをします。

J. スペシャル状態では、5分、1分の通話制限は、解除されます。特に、1分通話で呼び出しを受けた場合、1分たってもリセットしませんので、注意してください。

1分通話で呼び出された場合、1-MINのランプが点燈しますので、区別できます。

K. モニタースキャンは、低いCHから高いCHへの順番になっています。

L. 呼び出しを受けた直後は、その群番号と、CHを交互に点滅表示します。

そのCHに固定したい場合、HOLDキー、マイクのREMOTEキー、PTTのどれかで可能です。

M. メモリーAは、なくなりました。CQ"00000"での、待ち受け、呼び出しは、キーより入力するか、あらかじめ、どれかのメモリーに記憶させておいてください。

メモリーAが無くなったことにより、群番号のキー操作性がよくなっています。

Mに続いて、Cのキーを、表示が出るのを待たずに操作できます。

N. 待ち受け群番号は、同じ群番号が別のメモリーに記憶されていても、必ず呼び出しを受け付けます。

ほかのスペシャルの中には、同じ群番号がセットされ、片方だけの待ち受けにしていると、呼び出しを受け付けなくなってしまうものがあります。御注意ください。

L. ノーマル機能の設定

スペシャル状態から、ノーマル機能の設定変更を行なえるようにします。

HOLD + **MON** => **n** 以降、HOLDに続く機能は、ノーマルとなります。

再度、**HOLD** + **MON** => **n SP** で、スペシャルの機能に戻ります。

M. BEEP音の変更

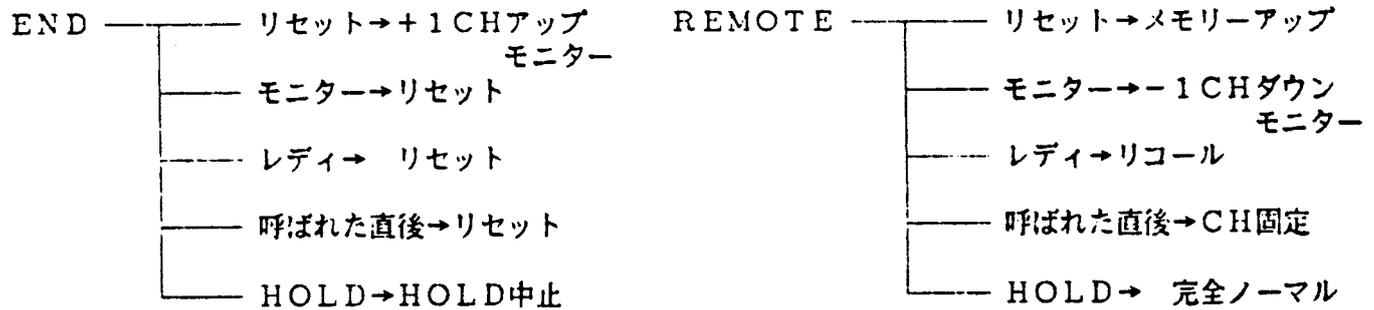
キー受付の動作音などを変更します。

HOLD + **0** => 動作音小、または消し。(2回の動作で切り変わります。)

HOLD + **9** => 動作音大。

N. マイクのキーの機能

マイクの、END、REMOTEのキーは、G IIと同様の機能になります。



O. 完全ノーマル

無線機を完全ノーマル状態に戻します。

HOLD + (マイクの) **REMOTE** => **0 E**

以降は、暗証番号がわからないと、スペシャル状態に戻れなくなります。

暗証番号は、忘れないために、どこか目立たないところにでも、メモしておきましょう。

本説明書の注意点

説明書は、他の人になるべく見せないようにしてください。また、要点だけをメモなどに記入しておけば、それほど難しい操作方法ではないので、十分活用できると思います。

本文中にてでくる、枠組の中の文字は、デジタルと同じ文字は表示を表わしています。
また、通常の文字は、操作するキーを表わしています。

例: **HOLD** + **HOLD** => **COPY** + **3** => **COPY3**

この場合は、HOLDキーを2回押すと、COPYの表示が出る。そこで、3のキーを押すと、COPYの字の後ろに3の表示が出ることを表わします。